

平成 30 年度第 2 回東浦町地域公共交通会議 会議録

会議名	平成 30 年度第 2 回東浦町地域公共交通会議
開催日時	平成 30 年 8 月 28 日（火）午前 9 時 30 分から午前 11 時 15 分まで
開催場所	東浦町役場本庁舎 3 階 合同委員会室
出席者・欠席者	別添「平成 30 年度東浦町地域公共交通会議委員名簿」のとおり
議題	平成 31 年度「う・ら・ら」ダイヤ改正に向けた住民アンケート調査について 【協議】
その他	・バス就職説明会について ・地域における「福祉」と「交通」の連携を考えるセミナーin名古屋について
傍聴者の数	6 人

審 議 内 容

◆防災交通課長

定刻となったため、会議を開催する。

◇総務部長

町長が所用により少し遅れて会議に参加することになっている。皆様にはご迷惑をおかけし申し訳ない。今回は議題が 1 つのみである。皆様の意見、ご協力をお願いします。

◆防災交通課長

始めに、人事異動に伴う委員の変更が 1 名あったため、新委員を紹介する。

本日の出席委員は、委員名簿のとおり、27 名中 25 名で、定足数の過半数以上に達しているため、東浦町地域公共交通会議設置要綱第 6 条第 2 項により、本会議が成立したこと及び同条第 4 項により、会議は公開とし、本日の傍聴者は 6 名であることを報告する。また、本日の会議の内容については、町のホームページで後日公開することを併せて報告する。

◆防災交通課長

それでは引き続き議事に入らせていただく。本来であれば会長が議事の取り回しをすることになっているが、会長不在の際には、副会長がその職務を行うこととされているため、これからの議事の取り回しは副会長をお願いします。

◇副会長

次第に従い議事を進める。議題 1 平成 31 年度「う・ら・ら」ダイヤ改正に向けた住民アンケート調査について、事務局から説明を求める。

議題 1 平成 31 年度「う・ら・ら」ダイヤ改正に向けた住民アンケート調査について・・・
資料 1、資料 2、資料 3、資料 3-1、資料 3-2、資料 3-3、資料 3-4、
参考資料 1、参考資料 2

◆事務局 A

資料に沿って説明をする。

まず、資料 1 の【平成 31 年度「う・ら・ら」ダイヤ改正に向けた調査・検討の進め方

【案】について説明をさせていただく。本資料については、前回の会議でも説明をさせていただいたものであるが、少し修正したところもあるため、再度簡単に説明をさせていただく。今回のアンケート調査は、公共交通講演会とグループインタビューでの意見も反映させて実施することになっている。公共交通講演会の開催結果概要については、参考資料1の【公共交通講演会「東浦町の『おでかけの足』をみんなで考える会」開催結果概要】を見ていただきたいが、平成30年7月8日（日）に東浦町文化センターで実施し、70名の方に参加していただいた。内容としては、富山大学の猪井先生の講演、町長、猪井先生、加藤先生と参加住民との意見交換会などである。猪井先生からは住民主導の地域交通の重要性などについて、話をさせていただくとともに、猪井先生が受け持っている地域での取り組みなども説明していただいた。意見交換会では、参加された住民の意見について町長、猪井先生、加藤先生がどのように考えているかなどを議論する形で行った。意見交換会で出た主な内容については、次ページ以降に記載させていただいているので、また見ていただきたい。グループインタビューの開催結果概要については、参考資料2の【「う・ら・ら」ダイヤ改正に向けた地区別グループインタビュー開催結果概要】を見ていただきたいが、7月の3日間で各小学校区と東ヶ丘地区で開催し、計64名の方に参加いただいた。このグループインタビューでは、地区ごとにどのようなニーズがあるのか、どのような不満があるのか、どう改善すれば乗ってもらえるかなどを中心に意見を聞いている。各地区の開催結果概要については、次ページ以降に記載させていただいているので、また見ていただきたいが、公共交通講演会及びグループインタビューの主な意見を集約させていただいたものが資料2となるため、今度は資料2の「講演会・地区別グループインタビューの意見集約結果」を見ていただきたい。まず、JRとの接続を良くしていただきたいという意見を多くいただいた。また、病院関係については、刈谷豊田総合病院にもっと早い時間帯に行きたいという意見や、刈谷豊田総合病院や長寿医療研究センターから帰る時間帯のバスを増やしてほしいという意見が数多くあった。もう少し小さい病院については、吉田眼科やまつおか整形外科に通院している方が多いとのことだったが、役場下から於大公園付近（最寄りバス停は於大公園南、平池台線（体育館経由）のみ停車）に両病院が移転してしまってから行きづらくなったという意見が出た。したがって、東ヶ丘線については、通学の時間帯を除いて一部ルートを変更して於大公園南バス停に停車するようにしてもよいのではないかと、平池台線については、於大公園南バス停に多く停まるような路線を考えてもいいのではないかと意見が出た。また、平池台線（ふじが丘経由）については、ポンチョという小型バスで運行しているため、朝のバス利用者が多い時間帯では、大変込み合い、乗りづらくて、危険であるとの意見も出ていたため、平池台線（ふじが丘経由）をなくして平池台線（体育館経由）の中型バスに一本化して、より多く乗れるような路線にした方がよいのではないかと。ただ、平池台線（ふじが丘経由）の路線を完全になくしては影響が大きすぎるため、その地域に対しては小型車両を走らせるとともに、その小型車両を各地区のコミュニティセンターを拠点とした生活道路（狭路）を運行させてはどうかという話になった。また、藤江小学校区の方は、緒川新田方面の需要もある（東ヶ丘マルスや巽ヶ丘駅など）とのことだったので、小型車両で平池台から緒川新田方面に走らせ、上高根台地域をカバーするとともに、緒川新田の方は、長寿医療研究センターへの需要も大きかったため、そのまま長寿医療研究センターへ直通する小型車両の便を作ってはどうか。そうすれば、東浦町内を循環できる大循環バス路線となるため、より利便性が高まる

のではないかという話になった。また、その他の意見としては、知北霊園に乗り入れてほしいという意見や、最終便をもう少し遅くしてほしいという意見、ベンチや屋根を設置するなどのバス待ち環境を改善してほしいという意見も出たので、そういったことも記載している。最後に資料1を再度見ていただきたい。この資料2のイメージをもってアンケート調査を実施し、ダイヤ改正（案）を作成していくことになるが、前回会議時に第3回の地域公共交通会議を10月下旬に、第4回の地域公共交通会議を12月上旬に開催すると説明させていただいたが、より調査結果等を精査してダイヤを策定していきたいと考えているため、第3回会議を11月下旬に、第4回会議を1月中旬に変更させていただきたくスケジュールを変更させていただいているので、合わせて報告させていただく。

◇副会長

説明を受け、委員の意見を聴取する。

◆委員A

半田市民病院が常滑方面に移ることになり、半田市の亀崎、有脇付近の住民は刈谷豊田総合病院に行こうかと考えている。また、知多バスの有脇線が廃線になった際も東浦町方面に行けなくなって不便になったと言っていた。なので、東浦町が何か方策を取れば、その方面での利用が伸びるのではないかと思う。

◇副会長

まず、知多バスの有脇線については、利用が少なかったので廃線となった。もっと乗ってくればこんなことにはならなかった。また、おそらく半田市民病院の移転は5、6年先になるため、その対策をするのであれば、だいぶ先の話である。半田市も今年10月のバスダイヤはまったく考慮していないものとなっている。ただ、私も半田市の委員をやっているため、亀崎、有脇付近の人が東浦方面に行きたいということは知っているが、半田市はまだどうしようと考えていないのが現状である。また、グループインタビューで生路、藤江地区で半田方面への需要も聞いたが、あまり関心がないようなので、今ところ「う・ら・ら」を乗り入れることも考えていない。

◆委員B

JR 武豊線が停まってしまったときに、「う・ら・ら」が非常に込み合っていたが、緒川駅で運転手が新たな乗客の乗車を断っていた。車内は詰めればもう少し乗れる気がしたが、運転手は厳密に乗車数をカウントして、定員を把握しているのか。

◆委員C

もちろん乗客のカウントはして、法令は順守しているが、乗客の体形や荷物の有無などにより、状況が変わってくるので一概には言えない。運転手としては、何かあってはだめなので、車内の状況を見て、危ないと判断すれば、定員に達していなくても断ることはある。

◆委員D

資料2の藤江地区に「地域運営の移動手段の検討」となっているが、現在のところ、やる事が決まっているということではなく、今後需要が高まれば検討していくという風に考えている。

◆委員E

今日の会議は「う・ら・ら」で来たが、立ち客が15人もいた。カーブ等で危ない時もあった。

◇副会長

私も朝に3台の「う・ら・ら」を見たが、全て立ち客がいて込み合っていた。「う・ら・ら」は他のコミバスと比べて本当に利用者が多い。特に朝の時間帯は多いので、増便できるのであれば、どんどんしていった方がよいと考えている。

◆委員 F

知多バスの有脇線の廃線については、申し訳ないと思っているが、赤字が膨らみどうしようもなかったということをご理解いただきたい。また、現在、東ヶ丘団地線も赤字で苦しい状況が続いている。東ヶ丘に小型車両を入れてはどうかという意見も多く出されているようだが、現在せつかく東ヶ丘団地線が運行しているので、この東ヶ丘団地線を有効活用できるような計画も考えていただければと思う。新たな路線を作るよりは、現在運行している路線バスに補助をした方が安くなることも多いと思うため、そういった観点でも考えていただければと考えている。また、空港バスについても小学校への通学バスに利用していただければ、役に立てると思うので、その点でも考えていただければと思う。

◇副会長

豊鉄バスのレイクタウン線というものがある。この路線は、廃線の危機に陥っていたが、現在も残っている。この地域では自治会が定期券や回数券を購入し、地域住民に安く販売して利用促進を図っている。また、赤字部分については、豊橋市が補助を出している。こういった住民、事業者、自治体、全員が協力してうまくいっている例もある。「う・ら・ら」に固執せずに、あらゆる方法で検討していきたいと思う。

◆委員 G

知多バスの東ヶ丘団地線と「う・ら・ら」が相互にうまく運行できるように調整していただけると助かる。

◆委員 F

東ヶ丘団地線は、東浦町と阿久比町が絡んだ路線となり、巽ヶ丘駅については、阿久比町、知多市、東海市が複雑に絡み合った地域となっている。行政間でうまく連携することにより、解決できることもあると思うので、そういったことも期待したい。

◆委員 H

他の市町で、朝晩と昼間で路線等を変えているところもあるので、そういったことも考えてはどうか。

◇副会長

そういったことを試した市町は多くあるが、うまくいっているところはほとんどない。朝晩は本数がかなりないと利用されないためである。

◇副会長

その他なければ、次の資料3以降について説明をしていただく。

◆事務局 A

資料に沿って説明する。資料3については、町民アンケート調査の概要が記載されているが、実施期間としては平成30年9月20日頃から9月末頃を予定している。また、調査対象としては、12歳以上の町民1,440名を無作為で抽出する予定である。1,440名の内訳については、卯ノ里小学校区を除いた各小学校区に各200部、卯ノ里小学校区については、緒川新田地区120部、東ヶ丘地区120部で計240部としている。また、アンケートについては、分けて実施したいと考えており、森岡・緒川小学校区で一つ、緒川新田地区で一つ、

東ヶ丘地区で一つ、片葩・石浜西・生路・藤江小学校区で一つの4種類を考えており、資料3-1から資料3-4で分けているので各々見ていただきたい。内容としては、「う・ら・ら」のことをどのように考えているか、どのようにしてほしいか、どのようなことに不満を持っているか、どう改善すれば乗ってくれるかなどを聞くとともに、緒川新田地区などでは、小型車両を導入した運行、長寿医療研究センターや知北平和公園などへの需要を聞いている。また、片葩小学校区などについては、小型車両でどのようなところに行きたいかなどを聞き、町民がどのようなことを望んでいるのかを把握することにより、よりよいダイヤを作成できればと考えている。

◇会長

遅れてしまい申し訳ない。これからは私が進行を務めさせていただく。それでは説明を受け、委員の意見を聴取する。

◆委員 F

資料3-2の問2について、「う・ら・ら」を乗る前提での質問が始まっているが、長寿医療研究センターをどの程度利用しているのかということと現在長寿医療研究センターに行く際の交通手段は何かを先に聞いた上で、現在の問2-1と問2-2を聞いてはどうか。また、問3では【「名鉄巽ヶ丘駅」を利用しない→問4へ】という項目があるが、問2にはそういった選択肢がない。なので、問2においても【「長寿医療研究センター」を利用しない→問3へ】といった項目を追加した方がよいのではないかと。同様に資料3-3の問2についても、先に行く頻度と行く交通手段を聞いた上で現在の質問につなげてはどうか。また、資料3-2の問1-6についてだが、例えば、2. 朝もう少し早い時間帯の便をつくる → 1-6-1 へ となっているのだが、1-6-1の質問事項は一行しかないため、1-6-1へ飛ばさずに2の項目の下にそのまま記載してはどうか。飛ばすことにより難しく感じる方もいると思うので、飛ばさないほうが、抵抗なくアンケートに協力してくれる気がする。他の項目や資料でも同様の考え方で修正した方がよいと思う。最後になるが、資料3-2の問1-7で「全目的にあわせた頻度で・・・」という記載があるが、少しわかりづらい表現だと思う。

◆事務局 A

今いただいた意見については、修正を検討させていただく。

◆委員 I

何のために行うアンケートなのかということとどこかに記載した方がよいと思う。また、各資料共通の問1-5について、「う・ら・ら」で行きたい目的地はどこかを聞いているが、「う・ら・ら」に限定せずに行きたい目的地を聞いてもよいのではないかと感じた。その他としては、緒川新田地区と東ヶ丘地区では聞いている長寿医療研究センターへの質問だが、他の地区では聞いていない。緒川新田地区と東ヶ丘地区のみで聞いているのはなぜか。

◆事務局 B

アンケートの目的というものは記載する予定である。「う・ら・ら」で行きたい目的地と限定しているのは、「う・ら・ら」でどこに行きたいのか、「う・ら・ら」に期待しているものは何かということを知りたいと考えているためである。緒川新田地区と東ヶ丘地区でのみ長寿医療研究センターの質問を入れているのは、今まで非常に通院が困難だった緒川新田地区や東ヶ丘地区について、長寿医療研究センターについてどのように考えている

のかを確認したいと考えているためである。

◇副会長

アンケートの目的については、表紙で記載する予定である。「う・ら・ら」で、と聞いていない項目については、前回の網形成計画のアンケート調査の時に聞いているので、聞く必要はないと判断している。長寿医療研究センターの質問の件については、緒川新田地区から長寿医療研究センターへの直通便を考えているため、質問しているということである。

◆委員 J

問 1 - 5 の質問内容についてだが、公共施設で、緒川コミュニティセンターのみが入っているがなぜか。

◆事務局 A

バス停としては、緒川コミュニティセンターしかないためである。

◆事務局 H

アンケート内容で「う・ら・ら」にいくら支出しているのかなど、コスト意識をもった質問をしてはどうか。

◇副会長

その質問も前回のアンケートで実施しているため、今回は実施しない予定である。今回はルートをどうするかということに絞って調査を行う。

◆事務局 J

森岡・緒川小学校区のアンケートについて、刈谷豊田総合病院への需要を聞いていないが、グループインタビューでも行きたいという意見も出ていたため、入れた方がよいのではないか。

◇副会長

森岡地区の場合、長寿医療研究センターがあるということもあるが、刈谷方面にニーズがあっても物理的に望まれたダイヤにできない可能性が高いので、正直やるか迷っていたが、入れていきたいと思う。

◆委員 F

資料 3 の※に「回収率 46%（過年度実績）より 50 票以上回収想定」とあるが、過年度実績とは何か。

◆事務局 A

網形成計画の時に実施したアンケート実績である。

◆委員 F

また、50 票というのは少ない気もするが、大丈夫か。

◇副会長

50 票は最低限度の数値だが、50 票で決定するというわけではなく、その結果を通して再度みなさんにもお聞きして決定していくということである。また、何か疑義があれば、再度調査を行うという可能性はある。

◆委員 B

アンケートは男女別や年齢別に少しは分けて実施するのか。例えば男に偏ってしまったらどうするのか。

◆事務局 A

完全に無作為で実施するので、そういったことはないはずである。

◇会長

その他なければ、採決を取らせていただく。

◆全委員

異議なし。

その他

◇会長

その他で何かあるか？

◆委員 K

チラシも配らせていただいたが、平成 30 年 11 月 17 日にバス運転士合同説明会が実施されるため、周知等をお願いしたい。

◇会長

その他で何かあるか？

◇副会長

チラシを配布したが、平成 30 年 9 月 30 日に、地域における「福祉」と交通の連携を考えるセミナー in 名古屋を開催するので、ぜひ皆さんにも参加していただきたい。

◇会長

本日の議事日程をすべて終了した旨を告げ、閉会を宣告する。